

地域力向上事業（看板事業）
第4回ジュニアジオガイド講座～火山の魅力を伝えよう！～

[主催] 国立阿蘇青少年交流の家

[共催] 環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所 阿蘇火山博物館 阿蘇ジオパーク推進協議会

[後援] 熊本県教育委員会 阿蘇市教育委員会

[期 日] 令和2年11月21日（土）～11月22日（日） 【1泊2日】

[活動場所] 国立阿蘇青少年交流の家及び阿蘇ジオパーク

[参加者] 小学5年～6年生 20名

[講師] 兒玉 夏子 氏 （阿蘇ジオパーク推進協議会 事務局員）
 広瀬 顕美 氏 （阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
 和田 眞幸 氏 （阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
 家入 惣子 氏 （阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
 高嶋 信雄 氏 （阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
 山本 俊夫 氏 （阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）

[協力団体] 阿蘇大観峰茶店

[担当職員] 尾家 義隆（企画指導専門職） 有木園和志（企画指導専門職）
 佐藤 倫子（企画指導専門職） 尾中 純一（主幹）
 志賀 泰成（事業支援室主任） 堀澤亮太郎（事業支援室係員）
 富里 幸夫（国立沖縄青少年交流の家 事業推進係主任）※実地研修

1 趣 旨

阿蘇ジオパークを地域教材として活用することで、郷土と自然を愛する態度の育成を図るとともに、問題解決学習を通して科学的思考力と課題解決能力、自ら学ぶ意欲を育成する。さらに、阿蘇ジオパークの情報を発信することで幅広い知識と表現力を育成する。また、ジオパークに関する仕事をしている人々の思いや願いを聞く場を設定することで、自らの将来について考える機会を作る。

2 目 標

- (1) 本事業を通して、児童一人一人が阿蘇ジオパークの実際に触れ、阿蘇ジオパークのよさや素晴らしさに気づき、自然に対する畏敬の念を持つとともに、郷土を愛する心を育てる。
- (2) 観察・実験及び調査活動等の自然体験学習を通して、科学的に探究する力や技能を学ぶとともに、目的を同じにした仲間と協力して課題を解決する力を育む。
- (3) 体験から感じ取ったことや学んだことをまとめ、それを発信することでジュニアジオガイドとしての幅広い知識と表現力を育む。
- (4) ジオパークに関する仕事をしている人々の思いや願いを聞き、自らの将来について考える機会を作る。

3 事業展開

研修プログラム

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
11月21日 (土)				受付	オリエンテーション	【活動1】 ～大観峰ガイド体験へ向けて～ ・原稿修正・練習 ・絵・図作成・看板作成 ※昼食含む			移動	【活動2】 大観峰ガイド体験		夕食・入浴	【活動3】 火山に関する仕事をしている方の講話 ・1日目のまとめ		就寝準備	就寝
11月22日 (日)	身支度	朝食	部屋点検	出発準備	【活動4】 仙酔峡ジオサイト探検 (仙酔峡) ※昼食含む			発表会練習 ・2日間のまとめ	閉会式 認定証授与							



ガイド練習



ガイドの呼び込み



大観峰ガイド体験



仙酔峡探検



発表会

4 成果と課題

(1) 成果

- ・「自分の住んでいる地域など阿蘇とは違う場所をジオガイドの目線で楽しみたい。」や「家族や友達にガイドしてみたい」、「他のジオパークのことを調べてみたい。」などの感想から、本事業を通して参加児童のジオへの興味・関心や探求心が高まったことが伺える。
- ・2日目に行く予定の「大観峰ガイド体験」を、天候により1日目へ変更したことで、参加児童は、晴天の下、多くの観光客を相手に生き生きとガイドをすることができた。参加児童感想「大勢の人が聞いてくださったので、楽しかった。」「準備は大変だったが、そのおかげでガイドが良くできた。頑張った甲斐があった。」「自分がガイドさんから教えてもらって学んだ阿蘇のことを、いろんなお客さんに伝えられてよかった。」
- ・1泊2日の全4回シリーズにしたことで、昨年度(2泊3日2回、1泊2日1回の全3回)と比べて準備や労働時間の分散という点で担当ジオガイドの負担軽減につながった。継続していきたい。

(2) 課題

- ・「ガイド体験を経たことで参加児童のジオサイトを見る視点が変わり、2日目の仙酔峡探検はこれまで以上に意欲的に学んでいた。」というガイドの振り返りから、次年度も今回のような流れで進めていくことが望ましいことがわかった。
- ・お客を呼び込みやすいよう、ガイドをするポイントは看板設置の茶店より先で行うことが望ましい。